

# 東都大学図書館通信(深谷キャンパス)

「そして本というのは、時空を超えて色とりどりの景色や風、光を届けてくれる素晴らしい窓だと思います。」

～ 青木海青子著『不完全な司書』(晶文社)p.30 ～

## 1. 学生選書ツアー2024@紀伊國屋書店新宿本店

～ 2024年9月12日(木)開催 ～

図書館に置く本を学生が書店で選ぶ学生選書ツアー。参加学生から「本の品揃えが想像以上に豊富」「店内を見ているだけでも楽しい」などの声が寄せられ、本と楽しく触れ合えた様子でした。当日は吉岡学長もお越し下さり、学生を激励してくださいました。12月中旬から同書店内でPOP展示会が催されます。学生作成の多彩なPOPをぜひご覧ください(詳細は裏面(図書館からのお知らせ))



## 2. 「いたみ」に向き合うこと

現代医療におけるエビデンス(科学的な根拠)の大切さを踏まえつつ、患者一人ひとりの声に耳を傾け、その人にとって身体的にも心理的にも「いたみ」の少ない最良の治療法を見つけることを大切にしている静岡県立総合病院の緩和ケア医・岸本寛史(のりふみ)氏。書籍『いたみを抱えた人の話を聞く』では、臨床で岸本氏がどのようにして目の前にいる患者の「いたみ」と向き合い、治療を行ってきたか(いるか)がわかる事例が多く紹介されています。岸本氏と、聞き手であるノンフィクション作家・近藤雄生(ゆうき)氏との対話形式で進む本書はたいへん読みやすく、しかしながら深く考えさせられる内容です。本のタイトルにあるひらがなの「いたみ」は、「痛み」「悼み」「傷み」など様々な意味を含み、本書を読み進めると「いたみ」だけでなく、「死」や「自分の弱さ」についても考えさせられます。医療職を志す皆さんにとって深い学びの一冊となるでしょう。



いたみを抱えた人の話を聞く (近藤雄生, 岸本寛史著 / 創元社)

## 3. ギャグで学べる生化学!

イメージしやすくてわかりやすいと好評の「のほほんシリーズ」の書籍。『のほほん生化学』や『のほほん解剖生理学』があり、著者はインターネット上で授業を無料配信している「WEB玉塾」の塾長・玉先生です。玉先生は中学や高校の理科の教員として勤めていた当時、経済的な事情で塾に通うことができずに進学や将来の夢を諦める子たちが多いことを知り、誰でも学び続けられる環境を整えたいと無料のインターネット塾を立ち上げました。「WEB玉塾」では中学生や高校生を対象とした授業のほか、医療系の科目を学ぶ皆さんを対象とした授業も公開しています。アニメによる授業動画なので、見やすく面白いです。そんな授業動画を書籍化したのが「のほほんシリーズ」。授業動画のキャラクターそのままに、玉先生のギャグも満載で、楽しみながら読むことができます。生化学や解剖生理学が苦手という皆さん!のほほんシリーズ、お勧めです!



のほほん生化学 (玉先生著 / 大和田深監修 / 永岡書店)

## ◆ 渋沢栄一翁が愛した言葉 ◆

人は喜怒哀楽愛悪慾の七情を有する。この七情の発動が常に中正を得ざれば、自暴自棄等の悪徳に陥る。

【『渋沢栄一訓言集』・立志と修養】

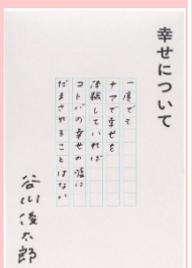


人は「喜ぶ」「怒る」「哀しむ」「楽しむ」「愛する」「悪が潜む」「欲する」という七つの情を持っていると言われています。この七情はどなたの中にも存在し、どれが善い悪いということではなく、七情をバランスよく保つことが心身ともに健やかな毎日を送る秘訣だそうです。疲れた時はいずれかの情が過剰に強くなっていないか、ご自身の気持ちと向き合うことも大切です。

※格言は『渋沢栄一 100の金言』 渋沢健一著 / 日本経済新聞出版社 p.82より転載

## 4. 詩人・谷川俊太郎氏が綴る「幸せ」論

タイトルと著者を目にしただけで「どんな幸せが綴られているのだろう」と思わず手にとってみたくなる書籍『幸せについて』。国民的な詩人として親しまれる谷川俊太郎氏が、87歳(当時)ではじめて「幸せ」をテーマに言葉を綴りました。温かくて瑞々しい、じんとな響きわたる言葉がつまっています。表紙カバーの言葉は本文からの抜粋ではなく、表紙のために書き下ろされたもの。3種類ある表紙カバーはすべて揃えたいほど、どの言葉も「そばに置いておきたい」と感じます。本文も心を動かされる言葉ばかり。特に、毎日を丁寧に生きようという気持ちにさせてくれたこちらの言葉を紹介したいと思います。「カラダが健やかなのは幸せの素(もと)だけど、ターミナル・ケアを受けながら幸せそうに微笑(ほほえ)んでいる人もいる。どうして微笑(ほほえ)んでいるのか、その訳はその人の生きてきたすべてにかかっているらうな。」(本文 p.39)



幸せについて (谷川俊太郎著 / ナカク社)

## ちいかわ なんかに小さくてかわいいやつ

管理栄養学部 管理栄養学科 助手 阿部咲楽



ちいかわ なんかに小さくてかわいいやつ(5)  
(ナガノ著 / 講談社)

皆さんの癒しは何でしょう？推し活をする、散歩やスポーツをする、温泉に入る…など様々な癒しの方法があると思います。私は最近、朝の番組でふと目にしたアニメ「ちいかわ」に癒されています。まだ知らない方も、すでに知っている方にも、ぜひ読んでいただきたい話題の漫画『ちいかわ なんかに小さくてかわいいやつ』を紹介いたします。

この作品はイラストレーターのナガノ氏がX(旧 Twitter)で掲載している漫画です。もともとはナガノ氏の「こういう風になって暮らしたい」という願望を表したキャラクターのイラストから始まりました。漫画は二頭身のかわいらしい生き物があふれる独特の世界観で、主人公のちいかわとその友達であるハチワレ、うさぎの3人をメインキャラクターとして描かれています。ちいかわの魅力として挙げられるのがほのぼのとした見た目とその奇妙な世界観です。巨大な酢こんぶが浮かんでいたり、無限に白米が湧き出る炊飯器が地面に埋まっていたりと、ファンタジーと現実がごちゃ混ぜになった設定になっています。ちいかわたちの生態も妙にリアルで、普段から草むしりや討伐、採取などの労働によって報酬を得て生活しているようです。また、キメラというキャラクターや魔女など不可思議な怪物に襲われることもあり、ほのぼの

しながらもちょっと怖い瞬間が垣間見える日常が描かれています。読み進めると、その世界観や時系列が明確になっていき、伏線や考察をかき立てる要素があることでより作品の魅力を感じます。私がこの作品の中で好きなキャラクターは「うさぎ」と「モモンガ」です。常にテンションが高くて自由奔放なのに、意外と周囲の状況を冷静に分析して行動する「うさぎ」と、自分の可愛さを強くアピールして欲しいものはすべて手に入れたがる強欲さや享乐的な態度、労働意欲の低さが目立つ「モモンガ」に心を惹かれています。特にこの2人がちょっかいを出し合うシーンには思わず笑ってしまいました。

小さな幸せを見つけて懸命に生きているちいかわ達の愛しさと健気さがとってもかわいらしく、時に切なかったりする部分に共感したり、「フ！」と笑ってきたりする場面も多々あったりします。漫画だけでなくアニメも放映されていますので、ちょっと息抜きをしたいときにはぜひちいかわ達の生活を見て癒されてほしいと思います。この作品を知ってからピンチの時は心の中でこう叫んでいます。「なんとかなれーっ！」

## カナレットとヴェネツィアの輝き

写真のように美しく精密に描かれたヴェネツィアの風景画を、ヴェドゥータ(景観画)と呼びます。イタリアの画家・カナレット(1697-1768)によって確立されたヴェドゥータは、グランド・ツアー(貴族の子弟が古典教養を学ぶために、数か月から数年をかけて文化の中心を巡った周遊旅行)の記念品として、英国人貴族をはじめとする外国人旅行者に人気を博しました。カナレットがヴェドゥータを描き始めたのは1719年頃からとされ、当初は光と影の効果を重視した雰囲気描写が特徴的でしたが、次第にすっきりと澄んだ空、定型的水の波紋、定規を用いて堅固に描かれた建物、といった画風が定着していきました。画面のあちろちらに様々な仕草の人物が描きこまれているのもヴェドゥータの特徴の一つで、日常の一幕を切り取ったような生き生きとした絵面が印象的です。リアルな風景を精密に描くヴェドゥータとは対照的に、カナレットはカプリッチョと呼ばれる奇想画も描いていました。カプリッチョとは、リアルな風景と空想上の風景とを組み合わせる構成した架空の景観画で、独創性の高い大胆な組み合わせに興味が湧きます。

本展は、ヴェドゥータの巨匠・カナレットの画業を紹介する日本初の展覧会です。スコットランド国立美術館など英国コレクションを中心に、油彩、素描、版画など約60点が集結します。カナレットによるヴェドゥータはいわば「名所絵」ですので、展覧会場に一歩足を踏み入れれば、まるでヴェネツィアを旅しているような気分を味わえることでしょう。SOMPO美術館(新宿)で世界遺産の街・ヴェネツィアを体感してみませんか？



作品：カナレット《サン・マルコ広場》1732-1733年頃 東京富士美術館 ©東京富士美術館 イメージアライヴ/DNPartoom 会場：SOMPO美術館(〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1) アクセス：新宿駅西口より徒歩5分 会期：2024年10月12日(土)～12月28日(土) 開館時間：10:00～18:00 ※金曜日は20:00まで ※最終入場は開館30分前まで 休館日：月曜日 ※ただし10月14日(月)、11月4日(月)は開館 観覧料(税込)：一般1,800円 / 大学生1,200円 / 高校生以下 無料 ※大学生(大学院生、専門学校生を含む)ならびに中高生は入場時に学生証をご提示ください。※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳を提示の本人とその介助者1名は無料、被爆者健康手帳を提示の方はご本人のみ無料です。入場時に手帳をご提示ください。SOMPO美術館：https://www.sompo-museum.org/ ※最新の情報はSOMPO美術館HPをご覧ください。※画像の転載ならびにコピー禁止。

## ◇ ちょこっと図書紹介 ◇

看護師、保健師の知識と職務経験を生かし、食べるだけでやせる食習慣メソッド「瞬食」を考案した松田リエ氏。2,000人以上をダイエット成功に導



コストコ瞬食ダイエット  
(松田リエ著 / 幻冬舎)

いた「瞬食」は、忙しい人や料理が苦手という人にもお勧めの方法のようです。コストコファンの著者が、美味しくダイエットができるコストコ食材16品を厳選してレシピを紹介していますが、本当にダイエット本なのかと見紛うくらい美味しそうなお料理が並んでいますよ！

## ◆ 百日草(ヒャクニチソウ) ◆

「ジニア」という花名でも親しまれる百日草は、初夏から晩秋にかけて百日ほど咲き続ける長命の花として知られます。花言葉は「変わらない思い」、「不在の友を想う」など。日本へは江戸時代に渡来し、庭草など身近な花として親しまれてきました。ブラジルでは「幸福を招く花」として、リオのカーニバルなどにぎやかな祭典には欠かせない存在になっています。花の色が豊富で咲き方も様々なので、見る者を楽ませてくれます。



@2024 Kaori Nagatsuka

◇ 図書館からのお知らせ ◇ 表面「1.学生選書ツアー2024@紀伊國屋書店新宿本店」で紹介したPOP展示会は、2024年12月16日(月)～2025年1月13日(月・祝)に紀伊國屋書店新宿本店3F アカデミックラウンジ前で催されます。POPとは本の魅力を伝えるメッセージカードのことですが、本学は2019年から紀伊國屋書店主催のPOP展示会に参加しています。学生選書ツアーの参加学生が作成する、創意工夫がこらされたPOPにはいつも感嘆するばかりで、アイデア満載の彩り豊かなPOPに学ぶことも多いです。POP展示会では本学のほか、他大学様のPOP展示会も開催されます。POP展示を眺めながら、年末年始をとともに過ごす本を選んでみませんか。(紀伊國屋書店新宿本店の詳細 <https://store.kinokuniya.co.jp/store/shinjuku-main-store/>)